

# Vol.07 建設女子の 本音!



清水土木HP



instagram



## 株式会社清水土木 様 (千葉県)

株式会社アイサスは土木技術者女性の会サポーターとして、土木の事業に携わる土木系女子「ドボジョ」を応援しています。

今回は千葉県にある株式会社清水土木の女性技術者2名にお話を伺いました!

土木技術者女性の会  
サポーター



2013年に入社して丸11年が経ちます。元々清水土木の事務員として働いていたのですが、もっと自分にできることがないかと考えて、2級土木を取得した後に技術者として現場に出るようになりました。

仕事のやりがい、工事を無事に竣工するため全体をよく見て、どうすればいいか考えながら進めていくことです。現場関係の会社さんとコミュニケーションを上手くとって、その都度相談しながら工事を進められるのは現場の良いところですね。作業中、住民の方に話しかけられることもあるんですけど、仲良くなって家に呼んでいただけることもありました。

会社が女性社員も快適に働けるよう、作業着の色も配慮してくれます。汗や下着が透けてしまったり生理もあるので、基本黒とか紺などの濃い色を選んで相談してくれるところが助かっています。女性特有の不調があるときは、自分から素直に伝えるようにしていますね。直接伝えた方が「そういうのもあるんだ」と理解してもらえ、良い職場環境になることにも繋がっていくと思うので。

### 後藤 亜季子様



男性と同じように動けなかったりすることで悔しい思いをすることもあります。女性だからこそ気づけること、やれることを探して積極的に行動していくと楽しくなってくるので頑張ってください!

### 吉野 あすか様



女性でも活躍できる場面やできることはたくさんあります。一緒に頑張りましょう。

元々建設業界は全く意識していなかったんですけど、何かを作る仕事に興味があり清水土木で女性が働いているのを見てここに就職しました。それと、土日祝が休みで社内の雰囲気が良いことも魅力的でした。私自身まだ2年目で、先輩社員の方は後輩に対する優しい扱いで接してくださっているので、仕事がしやすいです。

現場で住民の方から何の工事をしているのか聞かれることがよくあるんですけど、口頭での説明だと難しいのでわかりやすい図面を持って行きいつでも説明できるようにしていました。住民の方へのお知らせは、柔らかい印象になるので女性が行くようにしてますね。力仕事だと女性は難しい面もありますが、逆にそれ以外は何でもできると思います。

私の周りでも現場監督は汚れるっていうイメージがある人はまだいるんですけど、実際は技術者、監督の方はそんなに汚れることがないですし、現場に出ると気にならなくなるんですね。トイレは「快適トイレ」という綺麗なものもありますし、更衣室は現場事務所が立てば鍵も閉められます。建設業を見る機会が少ないので知られていないのですが、こういうところをもっと知ってほしいですね。